

## 【体育館】

現在老朽化した体育館を解体し、新しい体育館を建設中です。今年3月に完成する新しい体育館は、最新のトレーニング機器を完備し、西日本有数のアリーナ面積を誇る体育館として、学生の運動能力向上と健康管理に大きな役割を果たす施設となります。



新体育館完成予想イラスト



コンピュータ実習室

## 【コンピュータ実習室】

各講義棟に計3室のコンピュータ実習室を設置し、うち1室は学生が自由に利用できるように常時開放されており、残りの2室も授業のない時間は学生に開放されています。コンピュータ実習室には管理補助員が配置されており、初心者の方がすぐに利用できるような利用方法などのアドバイスを行っています。また、全学生にメールアドレスが発行されており、授業の予習・復習、レポートや卒業論文の作成だけでなく、メールなどのインターネットの利用に訪れる学生もたくさんいます。

## 【厚生会館】

学生の集いの場、憩いの場としての厚生会館は、1階に食堂、2階にショップとラウンジ、そして3階に多目的ホールがあり、食堂とショップは大学生協が運営しています。

食堂はカフェテリア方式を採用し、バラエティ豊かで栄養バランスのとれた食事が楽しめます。ショップでは、教科書、専門

書、文庫や雑誌などのほか、衣料品から家電製品、自動車学校の紹介に至るまで、キャンパスライフに必要なあらゆるものを豊富に取り揃えて、市価より安く提供しています。

## 【学友会館】

学友会館は、文化会・体育会所属のサークル室や、留学生交流室、4階には柔剣道の武道場があり、学生のサークル活動の拠点となっています。

特に特徴があるのは、建物の北西側の壁を利用したフリークライミング施設です。高さ15m、幅3mの壁が3面あり、初心者から上級者まで楽しむことができます。



クライミングウォール

# キャンパス散策(下関市立大学)

市大

下関市は、本州の最西端に位置する、山口県内で最大の人口を有する都市であり、県内唯一の中核市でもあります。下関市は朝鮮半島やユーラシア大陸への玄関口に位置するため、古来より交通の要衝として数多くの歴史上の舞台となってきました。

下関市立大学は、1966(昭和31)年設立の下関商業短期大学を母体に、1962(昭和37)年、経済学部経済学科の単科大学として発足、今年度開学50周年を迎える公立大学です。現在は経済学科と国際商学科の2学科ならびに大学院経済学研究科修士課程を持ち、「研究は地域に根ざし、教育は世界を旨とする」ことをモットーに、学生の自主性と自立性を尊重した教育・研究を展開しています。近隣アジア諸国との深い繋がりをもつ下関市の伝統を生かし、地域社会と東アジアとの国際関係に焦点を合わせた研究活動を積極的に推進しています。

## 【学術センター】

キャンパスのメインストリート、楠の並木の突きあたりに位置する学術センターは、地上3階、地下1階の建物で、附属図書館および附属産業文化研究所等からなる本学の研究活動の中心です。

図書館は約22万冊の蔵書を有し、開架閲覧室、AV室のほかに、グループ学習室、自習室、ブラウジングコーナー(新聞・雑誌閲覧室)があり、学内の学術交流の場にもなっています。



学術センター

### 【就職・進路指導】

本学では、小規模大学ならではのメリットを生かし、教職員が一体となって、学生の就職活動を強力にバックアップしており、昨年度の就職決定率は94.6%と地方大学の中では群を抜く就職実績を誇っています。就職相談室では、専任の職員が常時、企業との接触到に当たるほか、企業データをコンピュータに入力し、年間を通して学生に豊富な就職情報を提供できる体制を備えています。また、教職員で組織する就職委員会が、積極的な企業開拓を行うとともに就職相談として、学生との個人面接、キャリアカウンセラー窓口による指導等、独自のきめ細かい就職支援を行っています。

また、公務員試験対策講座では、受験対策専門の講師によるトップレベルの講義を安価に受講できます。このような充実した支援体制により、本学の就職実績は大都市圏有力大学に優るとも劣らないレベルに達しています。

### 【学生生活支援】

授業料の納入が困難な学生のうち、所定の条件を満たす学生は、授業料の減免を受けることができます。また、本学後援会では各種検定試験に合格した学生に報奨金を支給して、勉学に励む学生を応援しています。



就職相談



馬関祭のふく鍋



市民大学英会誌



オープンキャンパス



歓談する留学生